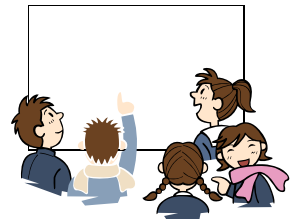




## (1) 教員採用試験最終結果報告

10月に各自治体の教員採用試験の最終合格発表がありました。結果は、下記の通りです。特に今年ほどの受験生も相当実力があつた、十分な面接練習をしましたが、本番で十分実力を出せた人と残念ながら自分のよさを面接官に伝えきれなかった人に分かれたようです。合格した人は4月からは初任者として忙しくなるので、卒業までに数学や理科の教科書や入試問題に取り組んでおいてください。また、残念だった人も実力がなかったわけではないので、来年に向けて表現力を磨いてください。私立学校に転身する人は、書類添削や模擬授業を行いますから個別に申し込んでください。



★読み方：最終合格者数 [期限付合格] / 1次合格者数 / 受験者数(昨年限期付合格)

自治体	東京都	神奈川県	埼玉県	茨城県	千葉県	川崎市	福岡県	合計
数 学	2/2(3)/2(3)	1/2/3	1/2/3		1/1/1	1/2/2	0/1/1	6/9(3)/11(3)
理 科	3 [1] /3(2)/3(2)	0/1/2		2/2/2				5[1]/6(2)/7(2)
合 計	5 [1] /5(5)/5(5)	1/3/5	1/2/3	2/2/2	1/1/1	1/2/2	0/1/1	11[1]/16(5)/19(5)

★教職大学院合格1名 ★公立学校1次合格率=85.7% (18/21) ★公立学校最終合格率=57.1% (12/21)

今年は1次通過はしたものの、数学や理科の専門科目が手ごわかったようです。そこで教職課程センターでは、学研の「やさしい高校数学」(数Ⅰ・A、数Ⅱ・B、数Ⅲ)を購入しました。対話形式で分かりやすく高校数学全般を開講してあります。学年不問で貸し出しをしているので、よかったら見に来てください。

## (2) 「合格体験談発表会」

○11月27日(土) 3・4限「教育実習事前指導」の授業で実施。於：W304 理数合同

○9人の教採合格者が、教採準備や受験体験について話してくれます。質疑応答もあります。

○1・2年生も参加できます。実施要項は配布済みです。

## (3) 「教委による教採説明会&卒業生を囲む会」

○12月4日(土) 3・4限「教育実習事前指導」の授業で実施。於：W304 理数合同

○東京都教育委員会：zoomによる説明(W304教室のスクリーンに映します)

○参加予定卒業生：①区立中学校理科 ②都立高校物理 ③神奈川県立高校数学 ④区立中学校数学(予定)

○教員採用試験対策、教師生活、生徒や学校の様子、教育実習などについて自由に懇談してください。

○参加者を4グループに分け、卒業生が1グループ当たり約30分ずつローテーションします。

○1・2年生も参加できます。実施要項ができたならお知らせします。

## 【教員経験者の独り言】

世の中にはスティーブ・ジョブズやビル・ゲイツのような歴史に偉業を残す人がたくさんいる。しかし私は、教師にはそんな派手な偉業も手柄も要らないと思う。目の前にいる生徒が一人でもいい人生をおくれれば、それが教師の本懐だろう。もちろん、そういう生徒は多ければ多いほどいい。でも、初めから業績や成果を求めるのは間違いだと思う。教育は、マネジメントではない。生徒の人生に関わる、とんでもなく大きな仕事なのだ。高校合格や大学合格などは、教員の成果のごく一部でしかない。難関大学に合格しても人間として素晴らしくなければ意味がない。そんな目先の成果主義ではなく、コツコツと目の前の生徒にひたすら寄り添う。ただそれだけ。でも、それが重要。その結果として10年後、20年後に真の成果が現れるのである。ときには、生徒の心ない言動に傷付き、イラっとすることもある。「このヤロー！」と思うこともある。でも、だからいいのだ。人間対人間だもの。体罰はマズイけど、カチンとくることはある。そもそも人が人を教えるなんてできない。生徒が勝手に学んでくれる。生徒が勝手に恩師と言ってくれる。生徒が勝手に慕ってくれる。そんな教師になれたらと思う。

# 「教員のライフステージ」

教員志望の皆さんは、ともしれば教員採用試験に合格することばかりに気持ちが行ってしまい、教員になった後の人生がどうなるのか全く知らないことが多いです。そこで今回は、教員になった後、定年退職までのライフステージについて書いてみました。教職を目指すかどうか判断する際の参考にしてください。また、今年合格した人は、いよいよスタートラインに立ったので、未来を見通して人生設計を行ってください。

東京都の場合を例に挙げていますが、他県でも概ね同じです。私立学校の場合は、自分から転職や退職をしない限り、定年までその学校に勤務することが多いです。

【新規採用時】[23歳と仮定] 4/1 入都式(辞令伝達、発令通知書受領、服務の宣誓) → 着任式(所属校)



○若手教員育成研修1年目兼初任者研修(命令研修) ※1 **ゴシック体**は研修

【2年目～4年目】[25～27歳] ○若手教員育成研修2～3年目(命令研修 主に授業研修) ※2 **下線**は試験あり



○新採4年目で原則必異動(公募異動できるのは、中高一貫教育校公募のみ)

【5年目～10年目】[28～33歳] ○**東京教師道場**(主に授業研修 研究授業義務 2年間 募集→選抜)



○1校6年目で原則必異動(着任3年目から異動可能) ※3 **赤字**は授業研修

【10年目頃】[33歳頃] ○**中堅教諭等資質向上研修**(命令研修 教員10年目の1年間) **青字**は職層研修



○**東京都教育研究員**(授業のグループ研究1年間 募集→選抜 2月に発表会)

○**主任教諭選考**(30歳以上で教職8年以上 合格すると給与増 分掌主任担当資格)

【15年目頃】[38歳頃] ○**大学院派遣研修**(給料をもらいながら大学院2年間研修 修士号取得 募集→選抜)



○**東京都研究開発委員**(授業のグループ研究1年間 募集→選抜 2月に発表会)

○**東京都教員研究生**(給料をもらいながら研修センター等で1年間研修 募集→選抜)



○**4級職選考**(34歳以上で教職10年以上 合格すると給与増)

・主幹教諭：分掌主任担当義務(校務運営の中心)

・指導教諭：研究授業公開義務(授業のリーダー)

○都教育委員会の依頼を受け、各種委員として活躍

【20年目頃】[43歳頃] ○**教育行政研修**(修了者は教育管理職A選考1次試験免除)



○**教育管理職A選考**→教育委員会指導主事になる。

(4級職者又は主任教諭経験2年以上)

【23年目頃】[46歳頃] ○**教育管理職B選考**→副校長・指導主事になる。



(4級職者なら39歳以上54歳未満、

主任教諭経験2年以上なら46歳以上54歳未満)

○**教育管理職C選考**→副校長になる。



(4級職者経験3年以上で50歳以上60歳未満)

【31年目頃】[54歳頃] ○**校長選考**



(副校長経験・統括指導主事経験3年以上で59歳未満)

【37年目】[60歳] ○定年退職(60歳になった年度末3月31日に退職)



・再任用職員(給料は退職時の70%、仕事100%)

・非常勤教員(原則異動、月16日勤務、

給料月額約17万円、授業+校務分掌、年齢上限撤廃)

・大学非常勤講師・非常勤職員

・教育委員会非常勤職員

・民間企業 等

## 【私学教員についてのQ&A】

Q1:私立学校の専任教員になった後、他の私立学校への異動は可能か?

A1:可能だが、異動先でいきなり専任教諭になることはまれ。異動しても、まずは常勤講師からが多い。

Q2:私立学校教員の採用では、大学院を修了している方が有利か?

A2:学校による。理系は専門性の高さを求める私立高校が多いので、専修免許状取得者の方が有利。

Q3:不景気になった時、解雇される可能性があるか?

A4:企業と同様、解雇もあり得る。解雇になるのは、①非常勤講師 ②常勤講師 ③専任教員 の順が多い。

★非常勤講師:授業だけを担当。

★常勤講師:正規教員とほぼ同じ仕事だが、基本的に1年契約。毎年更新。実績によって専任教諭に昇任可能。

☆教員のうちには授業や部活動指導を通して生徒と触れ合い、管理職になったら生徒も教職員も守ってほしいです。年々主幹教諭や管理職志望者が大幅減少しており、教育界の大きな課題です。まさに働き方改革が不可欠です。